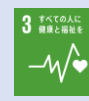
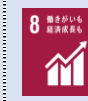
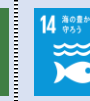
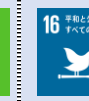


分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・グループとしての経営理念及び経営方針を共有し、年度毎に実行計画(アクションプラン)を策定し、会社としての取組事項を社員へ説明・共有し取組んでいる。 【予定】令和4年度の実行計画(アクションプラン)の目標実現化に向けて、各担当においてやるべきことを認識し一丸となって取組む。【実施予定時期:令和4年度毎月】								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・コンプライアンス研修を年2回実施し、社員への啓発を行っている。 ・内部統制システムの規程があり、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築しており、状況に応じて規程改正している。															16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努めており、社内監査部からのチェックを毎年受けており、2～3年毎には公認会計士の監査を受けている。										10					16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・事故等においては安全推進に特化した係が対応している。 ・SDイントストラクターを任命し事故防止に特化した取り組みを行っている。															16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・弊社ロゴマークの使用に際しては、権利侵害等の事故を防止する為に、デザインマニュアルがありこれに基づき使用している。 ・年2回開催するコンプライアンス研修の中で、規程に定められているプライバシーポリシー等の周知を行い確認及び意識の醸成を行っている。							8.2 8.3	9									
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護規程及びプライバシーポリシーに基づき適切に管理している。 ・コンプライアンス研修内でも個人情報の扱いについて実施している。															16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・ステークホルダー(郵便荷主)へ、品質アンケートを行う取組みを行っている。 ・一般荷主の要望に応えるべく、コミュニケーションを取ることで最善な提案ができるよう努めている。														16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・長期的な観点から安定的な事業運営を行うべく、毎年、運転手の正社員登用及び外部採用を実施している。								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進、福利厚生等、雇用条件及び職場環境において、差別しない体制を徹底している。 ・ハラスメントについて、規程において定めている。 ・定期的なコンプライアンス研修時にハラスメントに関する教育を実施し、相談窓口も設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・毎月、安全衛生委員会を実施し、改善等があればすぐにアクションを起こしており、内容は掲示して共有を図っている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員に対し同一労働同一賃金等の原則に基づいた公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・有給休暇取得状況を、先ず年5日休暇を促すためにシステム上で未達者をリスト化し、上長からの対話により年間での確実な取得を促す。 また、対話等によって働きやすい職場づくりを行っており、取得しやすい環境を作っている。 ・PCにおいて残業時間の管理をしていおり、在宅ワークの導入を実施し、働き方改革へ取り組んでいる。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・資格取得計画を策定し、会社が費用負担することで、積極的な講習及び試験受検を呼びかけ資格取得に向けて支援している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康診断及び再検査、コロナワクチン接種時の経費補助を実施している。 ・ドライバーへの睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査を会社負担で行い、心身ともに健康を維持できるよう支援をしている。			3					8								17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進、昇格時等に人種、性別の違いによる差別的待遇はない。 ・障がい者雇用について、法定雇用率を上回る取組みができています。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・感染症対策として、事務所内の机にはアクリル板を設置しており、在宅勤務の導入及び会議等はWEBを使用する等の対応を行っている。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●										8	9.1		11	12				
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4					8	9		12					

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物の適正処理を実施すべく、契約している業者へ持込みし、産廃処理にはマニフェスト伝票を発行している。 ・有害化学物質(PCB&アスベスト)を把握し、適切な管理及び処理を実施している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社屋内の電灯及び屋外外灯をLED化し電力の削減に取り組んでいる。 ・毎月、車両毎の燃料使用量を把握し燃費の管理を行っている。 ・新電力において比較検討し安価な業者に切換え、電気代の削減を図っている。 ・【予定】令和4年7月より『簡易計算シート』を用いてエネルギー使用量を把握し、削減に努める。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・車両毎の燃費を算出し、エコ安全ドライブに取り組んでいる。 ・【予定】令和4年7月より『簡易計算シート』を用いてCO2算出量を算出し、可視化することで削減に繋げる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境へ悪影響を及ぼさないよう、ハイブリッドトラックの導入を進めており、配慮している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生紙の利用を促進している。 ・裏紙利用の促進をしている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・『節水』の掲示を行い、節水意識の高揚を図っている。 ・地下水使用状況を毎年度提出し、利用状況の把握に努めている。 ・【予定】建物内の水回りをすべて、節水仕様(バルブ等取付)に、令和5年3月 迄に実施する。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		【予定】令和4年7月より、コピー用紙等の事務備品についてはグリーン購入に努める。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・敷地内に植栽を行っており、定期的な除草・剪定等を行い保全管理に努めている。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー利用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・建物内における照明をLED照明としており、外灯及び投光器についてもLED照明とし効率の見直しを行っている。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・ドラレコ・デジタコ(安全運転日報)など安全に配慮した装置を配備し、これに基づく指導を行っている。 ・外部機関(鈴鹿サーキット場を利用)による研修の実施を行っている。 【運転者研修】 ①運転習慣チェック②制動・車間距離検証③車両感覚・狭路走行④自社事故事例研究⑤トラックを使用しての事故防止検証⑥コース体験走行⑦振り返りと決意表明 【運行管理者研修】 ①安全知識テスト②添乗指導要領確認・模擬添乗指導③自社事故事例研究④トラックを使用しての事故防止検証			3.9							9		12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・支社社屋のトイレは全て洋式化しており、利用しやすい環境づくりに努めており、支社管下営業所の洋式化に取り組んでいる。									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●							7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・防犯及び飲酒運転防止を呼び掛けるハガキへの協賛を行っている。 ・地域からの寄付等の要請に際し、積極的に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・避難訓練を毎年実施している。 ・防災備蓄品や備品を常備している。 ・災害時の避難場所を社内に掲示している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・高校生の職場見学等について、積極的に受入れし対応している。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・学校訪問(直近はコロナにより郵送のみ)を実施し、弊社のパンフレット等を手交して業務内容を紹介し、地元の学生を積極的に雇用している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17